

学校だより  
長泉小学校

☆学校教育目標 「自ら考え 高め合いながら 伸びる子」

◎重点目標=キーワード 「進んでかかわり合う」  
重点生活目標 「あいさつがひびき合う学校」

# あすなろ

No.16 平成31年1月8日

## 「有志竟成」(志あるものはことついに成る) という言葉

校長 日吉美矢子

明けましておめでとうございます。

また新しい1年が始まりました。今年のお正月は連日天気もよく、穏やかな幕開けでした。

昨年は、長小の皆で「長小の1年の漢字」を決めました。冬休み前の12月26日に児童全員の投票の結果、「協力」の「協」が長小の漢字に選ばれました。「協」という字は「十」という漢字の横に「力」を三つ書きますが、文字通り、多くの人を力合わせる、心を合わせるという意味です。昨年は、学校生活の中で、皆で力を合わせ、たくさんの思い出を作った素晴らしい1年でした。

さて、平成最後の平成31年はどんな1年になるでしょうか。

昨年、校長先生がとてもいい言葉だなと思った漢字がありますので、ちょっと、紹介したいと思います。漢字1字ではなく、4字の熟語ですが、「有志竟成」ということばです。これは中国のことわざで、「志ある者は、事竟に成る(こころざしあるものはことついに成る)」と言い換えられ、「強い志、思いを持ち頑張れば、目的は必ず達成できる」という意味です。このことばを知ったのは、昨年度、ノーベル医学生理学賞の受賞が決定した時の、本庶 佑さんのインタビューでした。本庶さんは、簡単にはなかなか結果が出ない長い研究生活の中で、心が折れそうになったりしたこともたくさんあったが、決してあきらめずに、「有志竟成」(強い思いをもって頑張れば目的は必ず成し遂げられる。)と、いうことばをいつも胸に秘めて、長い研究生活を頑張りぬいたと語っていました。

「絶対こうする」「絶対こうなる」という強い決意とたゆまない努力が彼の研究への情熱を支え、世界で最高の賞を受賞するにいたりしました。

しかし、それ以上に彼を素晴らしい人だなと思ったもう一つのエピソードがあります。本庶さんはこう語っています。

「僕はゴルフが好きなので、ゴルフ場にしょっちゅう行きますが、ゴルフ場で出会った、あまり知らない人が、ある日、突然やって来て、『自分は肺がんで、これが最後のラウンドだと思っていたのが、あなたの薬のおかげでよくなってまたゴルフできる』と。そういう話をされると、これ以上の幸せはない。自分の生きた存在として、これほどうれしいことはない。これは、僕は正直いって、どんな賞をもらうということよりも、それで十分だと思っています。」

最高の賞を取ることよりも、人のためになる生き方をすることが、人生で最も素晴らしいことだと胸を張って言えること、私たちが見習うべき生き方ではないでしょうか。

さて、今日から始まる最後の平成31年に、皆さんはどんな志、目標を抱いていますか。いつも保健室で皆を温かく見守ってくださっている福田先生に聞いてみたいと思います。福田先生の今年の決意を表す漢字1字は「人」で、多くの出会いと別れの中で成長しているの、今年も、人を大切にしていきたいというお話がありました。皆さんも、ぜひ、今年目標をもってください。自分のこうなりたい、これを絶対成し遂げるといふ強い思いは、きっと、今の自分を一回り大きくしてくれることでしょう。次の学校、学年につながる1月、2月、3月はこれまで以上に強い思いをもち、努力を積み重ねる3か月であってほしいと思います。

今年はいのしし年、「猪突猛進」とよく言われます。校長先生の今年、大切にしたい漢字は「進」です。児童の皆さんと先生方、また、保護者・地域の皆様が1つのチームとなり、前へ前へと大きく進んでいく1年になればいいと思います。今年も亥亥1年にしていましょ。 (1月7日放送による全校集会)

有志竟成



# 学校支援地域本部事業

～いつもありがとうございます～



「平成」として最後の正月を迎えるにあたり、今年も玄関に門松を飾っていただきました。これは、「学校支援地域本部事業」の一環として、ボランティアの方々が設置してくれたものです。

「学校支援地域本部事業」は平成24年度からスタートし、今年度で7年が経過します。初年度から、中土狩の内藤路子さんがずっとコーディネーターをしてくださっています。学校のニーズに合わせ、ミシンや調理実習の補助などをしていただく学習ボランティア、花壇の植栽や手入れなどをしてくださるボランティア、授業参観後の懇談会時に託児をしてくださるボランティア、また、つき組やさくら組の子どもたちの支援をするボランティア等、多くのコーディネートをしていただいています。

学校の教育活動を支えていただいている「学校支援地域本部事業」の活動は、学校にとって欠かせないものとなっています。

## あいさつ運動協力校として～地域にあいさつを広げます～

長泉中学校区（長泉小、長泉南小、長泉中）は、平成29・30年度、「小さな親切」あいさつ運動協力校に指定されており（県下で4中学校区を指定）、昨年度からあいさつ運動に力を入れ、取り組んできています。

1月21日には、静岡市で行われたフォーラムにおいて、6年生の関口楓花さんが代表で感謝状をいただきました。

1月に実施した児童アンケートでは、「自分から進んであいさつをすることができる」と答えた児童が90%と、着実に増えました。これは、児童委員会を中心に、学校全体であいさつ運動に取り組んできた成果だと思えます。1月16日（水）には、消防署前の交差点で、登校時、小中合同あいさつ運動を実施します。あいさつ運動協力校の指定は、今年度で終わりになりますが、今後も引き続き、あいさつ運動に取り組み、学校の中だけでなく、地域にもあいさつがひびき合うようにしていきたいと思えます。

